

2022年度事業報告

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人 愛・知・みらいフォーラム

1 事業の概略・成果

特定非営利活動法人愛・知・みらいフォーラムは、愛・地球博で発信した「地球平和に向けた愛知アピール」の精神を踏まえ、環境・貧困・紛争・生命・健康などの地球的課題について、生徒たちが楽しく主体的に学び、みらいを担う子どもたちが「地球市民」として、持続可能な社会の形成と国際協力、国際平和に寄与することを願って、学校が行う国際理解教育を支援している。この国際理解教育の大きな2つの柱は「出前授業」と「特別講座」である。

(1) 出前授業

国際経験豊かな講師を県内の高等学校に派遣して、「国際理解教育出前授業」を実施。講師の貴重な体験と見識を子どもたちに伝えることにより、みらいを担う子どもたちに地球環境、貧困、紛争などの地球規模の課題が実は自分たちの日常生活に密接に関わっていることを理解してもらい、世界の“みらい”のあり方についてまた自らの生き方について考えるきっかけを提供した。

(2) 特別講座

県内の高等学校に在学する意欲のある生徒を一堂に集め、「国際理解教育特別講座」を実施。学校の普通の授業では取り上げられない地球規模の課題について、受講生が配布された資料を読み解き、自ら考え他の学校の生徒たちと意見を交わすなど参加型の授業を通して、地球市民としての生き方を考える刺激的な機会を提供した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 小学校、中学校、高等学校における国際理解教育に関する講師の派遣

事業名：国際理解教育授業支援事業（国際理解教育出前授業）

事業費：548千円

ホームページなどを通じて広く募集し、希望申し出が18校25授業であったところ、学校側の都合により2校3授業が中止となり、結果、16校（中学1、高校15）に講師を派遣して、22件の出前授業を実施した。4校では授業を複数回実施し、英語による授業も2校で実施した。

2022 年度出前授業実施状況(日付順)

	実施日	学校名	派遣講師・テーマ	受講者
1	4月26日	千種	内山愉太 「生物多様性と私たちの暮らし」	国際教養科(1年生)80人 教職員3人
2	5月6日	市立北	古藪真紀子 「国際開発とジェンダー～全ての人々が幸せに暮らせる世界を目指して～」	1年生、国際理解コース(2.3年生)348人 教職員20人
3	5月30日	木曽川	林かぐみ 「わたしたちの健康をわたしたちの手に」	全学年720人 教職員50人
4	6月20日	千種	湯本貴和 「環境問題と感染症」	国際教養科(1年生)80人 教職員3人
5	6月24日	市立名東	浅野陽子 「ハンガーゼロの活動と国際貢献のあり方」	国際英語科(1・2年生)73人 教職員8人
6	7月11日	聖カピタニオ女子	林かぐみ 「健康は誰が守るのだろう」	1年生191人 教職員7人
7	7月15日	一宮	近藤敏夫 「国際社会での「輝き方」を共に考え、行動を開始する」	生徒23人 教職員3人
8	9月21日	常滑	浅野陽子 「わたしから始める、世界が変わる～考えてみよう！共に生きること～」	全学年480人 教職員50人
9	10月3日	安城東	野尻敬午 「SDG's と企業、企業人」	国際理解コース(1.2年生)41人 教職員8人
10	10月18日	尾北	浅野陽子 「私から始める、世界が変わる」	国際教養科(2年生)40人 教職員3人
11	10月19日	瑞陵	近藤敏夫 「理科系志望学生向け”日本式国際感覚”習得の薦め」	コスモサイエンスコース(2年生)38人 教職員2人
12	10月20日	一宮南	新海雄二 「総合的な探求の時間」	1年生全員360名が希望講座に分かれて受講
13			近藤敏夫 「総合的な探求の時間」	
14	10月25日	千種	野尻敬午 「SDG's と企業の取り組み」	国際教養科(2.3年生)93人 教職員7人
15	10月27日	一宮西	西川由紀子 「紛争のない世界のための国際協力」	国際理解コース(2年生)30人 教職員4人
16	11月2日	木曽川	坂野耕三 「グローバル化とSDG'sを考える」	全学年705人 教職員50人

17	11月11日	津島市立 暁中学校	牛田千鶴 「外国語を学び、異文化を理解することの意味」	全学年 377人 教職員 30人
18	11月25日	千種	古藪真紀子 「アフガニスタンの女性と女性のエンパワメントのためのプロジェクトから平和を考える」	全学年 720人 教職員 18人
19	12月1日	津島市立 藤浪中学校	稲垣隆司 「「美しい星・生命の星」地球を守り、未来に引き継ぐために～いま私たちは何をすべきか～」	2年生 128人 教職員 6人
20	12月7日	愛知啓成	西川由紀子 「戦争を違法化した時代に生きる私たちの課題ーウクライナ・ロシアの戦争はなぜ止められないのかー」	グローバルコース (1,2年生) 70人 教職員 3人
21	12月19日	聖カピタ ニオ女子	牛田千鶴 「グローバル社会が求める複言語話者とはースペイン語圏諸国の魅力に触れつつ考えてみよう！ー」	1年生 175人 教職員 50人
22	(2013年) 3月13日	市立桜台	古藪真紀子 「国際開発とジェンダー」	1,2年生 665人
	合計	16校	22授業(※)	

※ 3授業が学校の都合等により中止

(2) 研究会・講演会・シンポジウムの開催

事業名：国際理解教育特別講座事業（高校生夏休み国際理解教育特別講座）

事業費：555千円

コロナ禍にあることを考慮し、感染対策を徹底した上で通常よりも規模を縮小して開催することとして、（公財）愛知県国際交流協会との共催により、愛知県教育委員会の後援を得て、7月30日（土）にあいち国際プラザにおいて開催した。SDGs(持続可能な開発目標)を全体の授業を貫くテーマとして、講師による授業と、それを踏まえたグループ討議を行った。当日の限られた時間での学習効果を高めるために、各講師が作成した事前学習資料を参加予定生徒に提供するといった新たな取り組みも行い、当日は、全参加者から多くの質問・意見が出された。

結果として、5校(県立4、私立1)から生徒17名の参加とせざるを得なかったため、講座の内容をできるだけ多くの生徒や学校関係者に知ってもらうよう報告書を作成し、県内の全高校・関係者に配布した。

2022 年度高校生夏休み国際理解教育特別講座プログラム

時 間	内 容	講 師
14:00 ～14:30	主催者あいさつ — 戦争体験から	愛・知・みらいフォーラム 理事長 加藤延夫
14:30 ～15:10	授業① SDGs がめざす地球市民としてのパート ナーシップ — グローバル化した世界における武力紛争 —	同志社大学グローバル・スタ ディーズ研究科教授 西川由紀子
15:10 ～15:50	授業② 脱炭素を目指す SDGs 企業の現場から — カーボンニュートラルへの飽くなき挑戦 —	日本ガイシ株式会社 ESG 推進 統括部 ESG 推進部長 野尻敬午
15:55 ～16:40	授業③ «イギリス・ロンドンからのオンライン 授業» 暴力・傲慢・覇権 — ウクライナ戦争に見る人類の課題 —	同志社大学グローバル・スタ ディーズ研究科教授 中西久枝
16:45 ～17:15	グループ討議	

(3) その他目的達成のために必要な事業

事業名：運営企画費

事業費：147 千円

国際理解教育支援の一層の充実に向けて、組織内部や関係機関等との間で各種の調整、検討を行った。

※定款に定める「小学校、中学校、高等学校における国際理解教育づくりへの支援」に関する事業は、令和4年度は実施しなかった。

3 会議の開催に関する事項

(1) 総会 (1回)

2022 年度の総会は、新型コロナウイルスの影響により、2022 年 5 月に書面による開催となった。

議 題

- ① 2021 年度の事業報告について
- ② 2021 年度の収支決算について
- ③ 2022 年度の事業計画について
- ④ 2022 年度の収支予算について
- ⑤ 役員人事について

(2) 理事会 (3回)

第 1 回理事会

2022年度の第1回理事会は、2022年5月に書面による理事会開催となった。

議 題

① 通常総会の議案について

第2回理事会

日 時 2022年11月12日(土) 13:55~15:10

場 所 あいち国際プラザ 1階 交流室(大)

議 題

① 報告事項

(ア) 講師選考委員及び運営委員の選任について

(イ) 新規講師の委嘱について

(ウ) 2022年度の事業実施状況について

② 審議事項

2023年度の事業計画(案)について

第3回理事会

日 時 2023年3月12日(土) 14:30~15:34

場 所 あいち国際プラザ 1階 交流室(大)

議 題

① 報告事項

(ア) 2022年度国際理解教育「出前授業」の実施状況について

(イ) 2022年度収支決算見込みについて

② 審議事項

(ア) 2023年度事業計画(案)について

(イ) 2023年度収支予算(案)について

(3) 講師選考委員会

日 時 2022年11月12日(土) 13:30~13:50

場 所 あいち国際プラザ 1階 交流室(小)

議 題

講師候補者(2人)の選考